

**授業概要**

発達心理学には、人間の発達のメカニズムを明らかにする科学的側面と、生涯にわたる生活の質を高めるための実践的側面がある。本講義では、科学としての発達心理学に関する基礎的な理論の理解を深めると共に、人間の発達を促す保育・教育実践のあり方についても議論する。

**授業計画**

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 第 1 回  | ガイダンス：発達心理学とはどのような学問か  |
| 第 2 回  | 遺伝と環境                  |
| 第 3 回  | 乳幼児期の発達①：感覚・運動の発達      |
| 第 4 回  | 乳幼児期の発達②：愛着の発達         |
| 第 5 回  | 乳幼児期の発達③：認知の発達（乳児・幼児期） |
| 第 6 回  | 乳幼児期の発達④：認知の発達（児童期以降）  |
| 第 7 回  | 乳幼児期の発達⑤：言語の発達         |
| 第 8 回  | 乳幼児期の発達⑥：社会性・道徳性の発達    |
| 第 9 回  | 学童期・青年期の発達             |
| 第 10 回 | 成人期～老年期の発達             |
| 第 11 回 | 発達の支援①：発達障害 1          |
| 第 12 回 | 発達の支援②：発達障害 2          |
| 第 13 回 | 発達の支援③：検査とアセスメント       |
| 第 14 回 | 発達の支援④：発達の支援           |
| 第 15 回 | まとめと振り返り               |
| 第 16 回 | 筆記試験                   |

**到達目標**

- ・発達心理学の基礎的な知識や概念について自分の言葉で説明できる。
- ・発達心理学の知見をどのように実践に生かせるのかについて、具体的に意見を述べることができる。
- ・保育や教育の実践場面で生じる諸問題について、発達心理学的な視点から考察することができる。

**履修上の注意**

授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いの場を設ける。  
他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。

**予習・復習**

予習：指定した教材に目を通し、疑問点やもっとよく知りたい点を考えておくこと。  
復習：授業で学習した内容について、分かった点やまだよく分からない点をまとめておくこと。  
(予習や復習を通じて出てきた疑問点については、授業内でフィードバックを行う)

**評価方法**

学期末試験 70%、授業内レポート 30%

**テキスト**

教科書は特に指定せず、毎回の授業時に適宜教材を配布する。